
ドライビングゲーム

菜月

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ドライビングゲーム

【Nコード】

N8820A

【作者名】

菜月

【あらすじ】

ショートショート交通事故の多発に、警視庁はネットを使ったバーチャルシュミレーター||ドライビングゲームで1年後との試験を始めた。

『ドライビング・ゲーム』

モニターのゲームは3周目に入っていた。後ろで妻が「頑張っ
て！もう少し！！」と叫んでいた。信号が赤から青に……。その横断
歩道に人が走って入って来た！！

アクセルをふかして時間以内にゴールへ入ろうとしていた俺はそ
の人を……。

「またあ……。本験は3日後よォ。」

まったくだ。これというのも交通戦争に業を煮やした警察がこ
れも増え続けた違反反則金で全家庭に入り込んだコンピューターネ
ットに目を付けてそれで1年毎に免許の試験を行う事にしてしまっ
たものだ。

尤もこのドライビング・ゲームで違反をしても即免停という訳で
はなく、これで反則点を溜めると再試験に呼び出されるだけだが、
この年になると実技試験ではゲーム以上に心もとない。

さりと言って免許なしでは車なしの仕事など考えられもしないし、
家庭サービスの月末の旅行も出来なくなる。だから、再ゲームを始
めた。

翌日には目を腫らして会社へ行く有り様だった。

こんなんぢや余計に2日後に迫った本験では駄目だろう。

しょんぼりとして会社に着くと同僚がささやいた。

「いい噂を聞いたんだ。お前もドライビング・ゲームで駄目なクチ
だろう。あれに裏技があるという話なんだ……」

同僚の話を要約するところらしい。

どうもこれを管轄している警察はお役所らしく、昔の機械にちょ
っと手を加えただけのものを使ったりしているせいか、このゲーム
ではどうも反則を一時に増やすとプログラムがオーバーフローを起

こし、プラスの最高点に反転してしまうというのだ。

早速その週末に向けて反則の特訓だ。何しろ一回で中止になるような挽き逃げとかの余り大きな反則は侵さずゲーム時間以内に今までの反則点に併せて65000点はとらなければならない。人のいない信号をめぐけて信号無視してUターン禁止の道でスピンターの繰り返しだ。こういうなら昔のゲームで得意だ。

おかげで週末の試験が終わった時にはしばらく反則してもいいだけの免許の持ち点が入っていた。

今日は車で週末の家族サービスも快適だ。

ああ…本物の違反を起こしてしまった……。

運悪くパトカーが後ろから…。いくらゲームの方で点数を持ってても実際の免許点数が…。

そうだ、こういう時は家に帰る迄に違反を65000点越えれば

……。(了)

(後書き)

うーん、サスガに今では65000のオーバーフローなんて、
と思いましたが（なんせ書いたのがかなり前なのです）、2000
年問題があったのはごく最近ですし、ね。まさかというバグっての
は結構あるもんですよね。きっと…。タブン…。もしかしたら…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8820a/>

ドライビングゲーム

2010年12月31日18時33分発行